

取付方法

おことわり

本書は、TETSUWAN-01/02/03に共通した取り付け方法を説明するものです。
イラストはTETSUWAN-01を使用しておりますが、基本的な取り付け方法は全機種共通です。

取り付けに別途必要なもの

1. プラスドライバー (サイズ: No.2)
2. 軍手 (作業時の手のはさまれやケガの防止)

取り付け時は

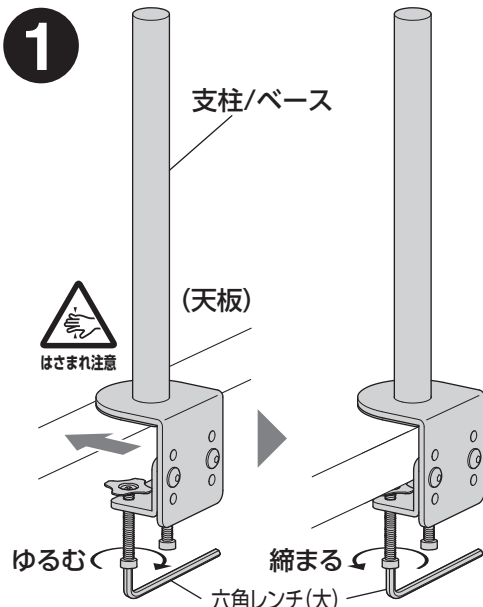
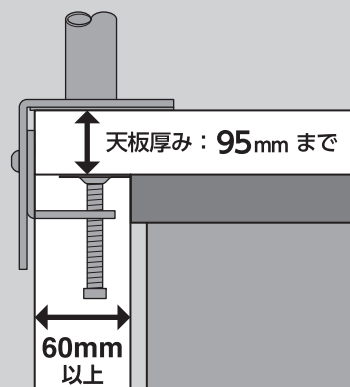
天板の厚み

天板下側の形状

にご注意ください。

取り付け可能な天板の厚みは
95mmまでです。また、
本製品とモニター等を支える
だけの強度が必要となります。

天板の下側に**60mm**以上の
奥行きが必要です。



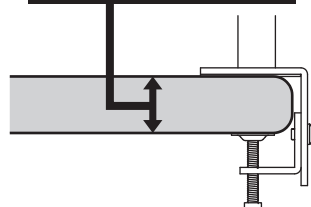
ベースが天板の厚みに
合わない場合は、六角レン
チ (大) を使ってベース
側面のネジ2本を外し、上
下の位置を調整してくだ
さい。

外す

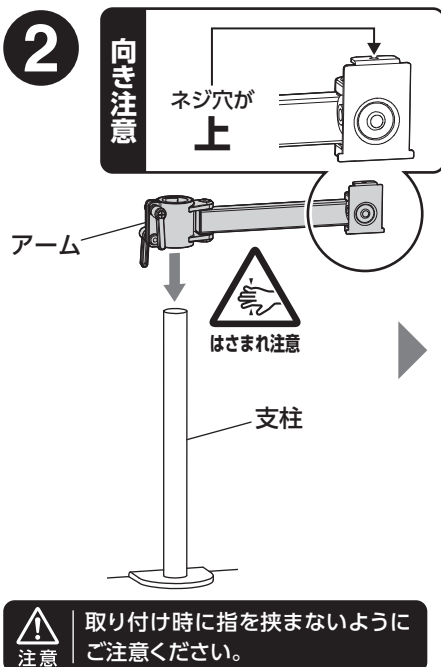
【天板厚のめやす】

- 5~50mm
- 30~75mm
- 50~95mm

推奨天板厚
30mm以上

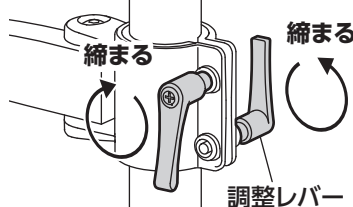


- ・机に取り付けた後、各部にガタつきやブレがないかを必ず確認してください。凹凸のある机に取り付けた場合や、天板の強度が足りない場合、机や本製品、モニターが破損するおそれがあります。
- ・取り付け時に指を挟まないようにご注意ください。

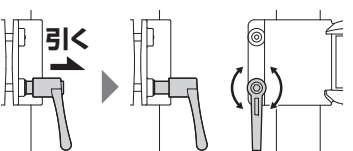


TETSUWAN-01/02

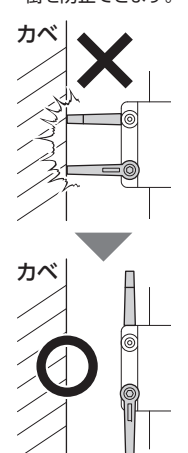
アームを支柱に差し込んだら、調整レ
バーを回して、しっかりとアームが固定
されていることを確認します。



★調整レバーを手前に引くと、ネジを固定した
ままレバーが自由回転し、好きな角度から
さらに締め付けが行えます。

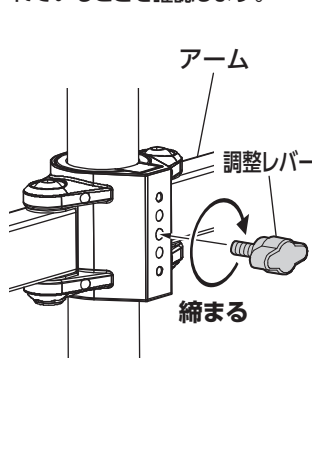


★締め付け後はレバー
を下向き (上向き) に
固定しておくこと、カ
ベなど後面への緩
衝を防止できます。



TETSUWAN-03

アームを支柱に差し込んだら、
付属の調整レバーを取り付けて
回し、しっかりとアームが固定さ
れていることを確認します。

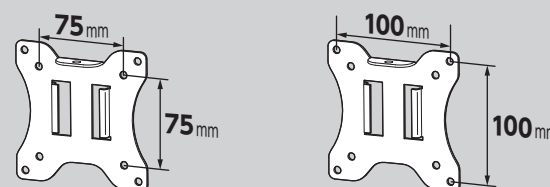


3

※作業を行う前に、モニターのマニュアルを参照し、もともと付けてあるスタン
ドなどを取り外します。
※作業の際は、モニターの液晶面やベゼルに傷がつかないように、毛布やタオル
などの柔らかい物を下に敷いて作業を行ってください。

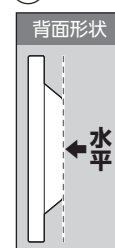
- ①モニター背面とVESA穴が水平な機種の場合、VESAマウンタを付属のネジ
(M4x10) で取り付けます。
- ②取り付けるモニターによっては、VESAマウンタがVESA穴近辺のベゼルや接続
コネクタなどに干渉する場合があります。
その場合、付属のスペーサーとネジ (M4x25) を用いて取り付けを行ってくだ
さい。
※スペーサーを用いても干渉を防げない場合もあります。ご了承ください。

対応VESA規格 (VESAマウンタ)

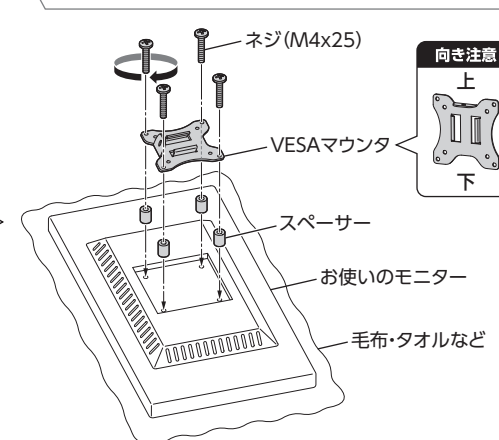
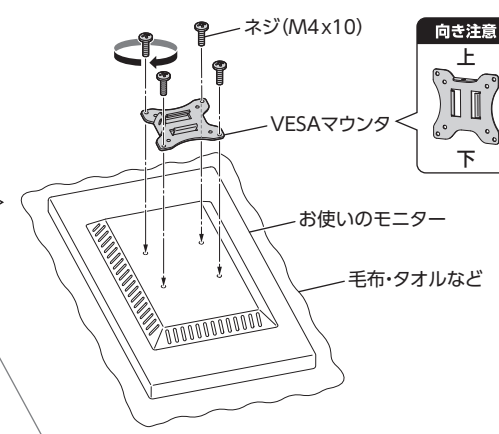
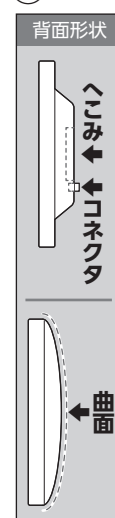


本製品に付属しているネジが合わない場合、市販の適切なネジを別途
ご用意ください。
不適切なネジを使うとモニターを故障させてしまったり、本製品を使用
中にモニターが落下してしまったりと非常に危険です。
必ずモニター指定のネジの太さ、長さを確認してから取り付けを行って
ください。

①



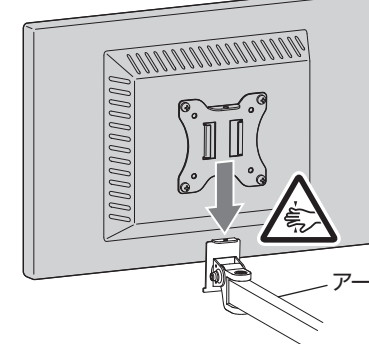
②



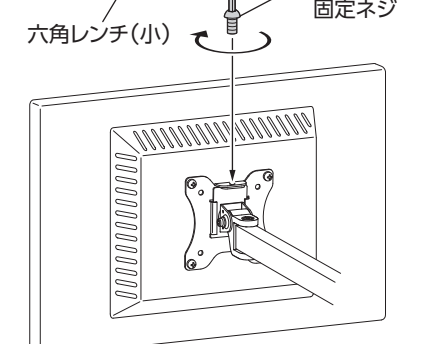
4

- ①VESAマウンタを取り付けたモニターを、アーム
先端部に差し込みます。
- ②VESAマウンタとアーム先端部を、VESAマウン
タ固定ネジで固定します。

①



②

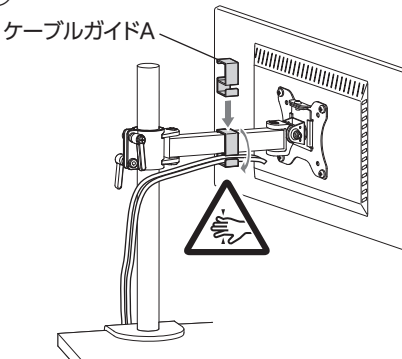


5

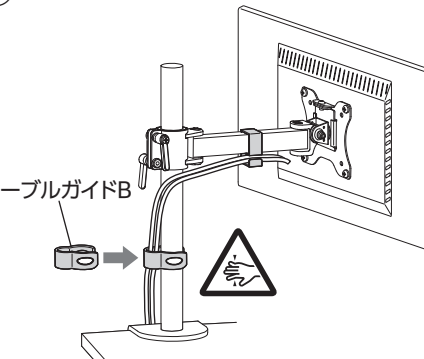
【準備】モニターのケーブル類をアーム
に沿って配線しておきます。

- ①ケーブルガイドAをアームに取り付け、ケーブル
類を引っ掛けます。
 - ②ケーブルガイドBを支柱に取り付け、ケーブル類
を通します。
- ※アームを動かした際にケーブル類が引っ張られること
があります。関節部には少し余裕を持たせて配線を行っ
てください。
また、ケーブルガイドなどでケーブルの皮膜を傷つける
場合があります。あらかじめご注意ください。

①



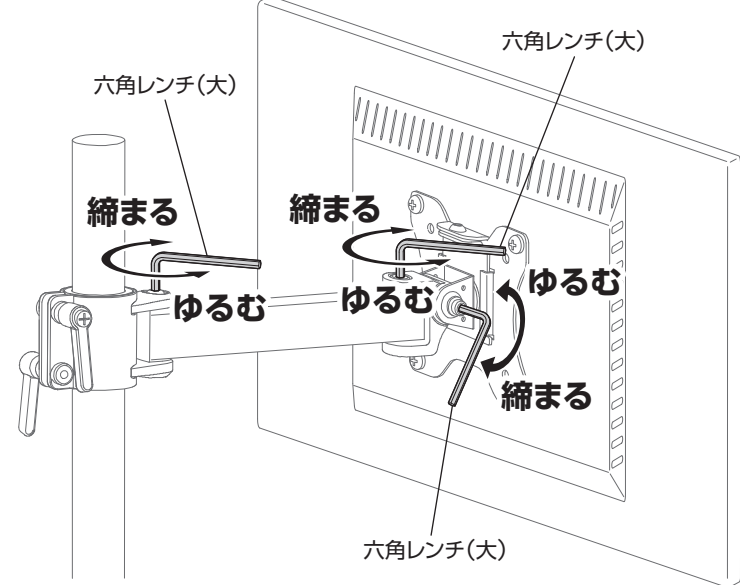
②



可動部の調整方法



六角レンチ(大)を使い、アーム、VESAマウンタの各部の締め付けを調整します。
※この作業は必ず大人2名以上で行ってください。
※締め付けがゆるいと、モニターやアームが不意に大きく動いて破損やケガをするおそれがあります。



注意

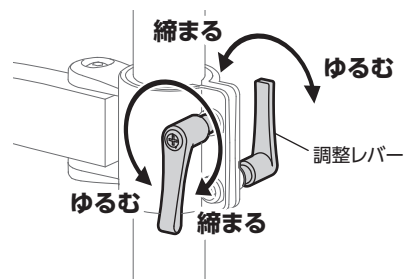
- 工具をしっかり差し込んで調節してください。
差し込みが浅いと、工具が外れて本製品に傷を付けたりケガをするおそれがあります。
- ネジは一気に大きく回さず、半回転程度回して様子を見てください。

高さの調整方法

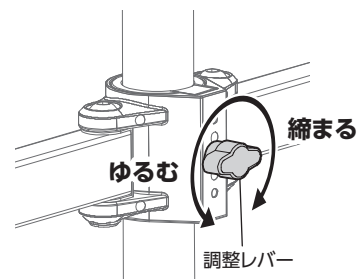


モニターアームの高さを変える場合、モニター、モニターアームをしっかり支えた状態で、アームの調整レバーをしっかりと緩めてから、高さを調整します。
浅く緩めた状態で高さを調整すると、機器の故障の原因となります。

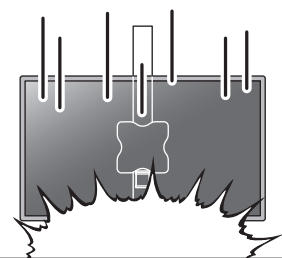
TETSUWAN-01/02



TETSUWAN-03

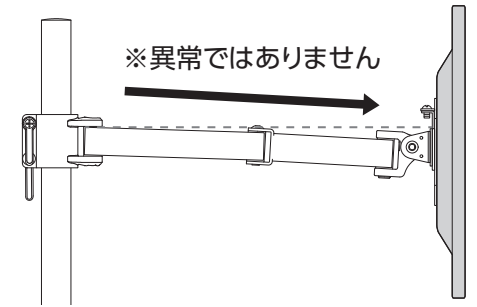


注意 落下するとケガや故障の原因となり非常に危険です。

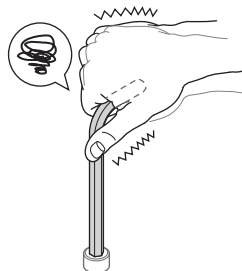


モニター設置時のアームのゆがみについて

アームの各関節部には多少の『遊び』が設けてありますので、モニターの重量によっては多少アームが垂れ下がる場合があります。これは製品の異常ではありません。



トラブルシューティング

症 状	処 置
各固定部をきつく締めているが、モニターがぐらついてしまう	取り付けた天板の強度が足りない可能性があります。 天板がゆがんでいないかご確認ください。
設置したあとモニターが動かない、回転できない	初めて動かす場合は関節部が固くなっている場合があります。 各関節部の調整を少しゆるめ、ゆっくり力を入れて動かかをご確認ください。 (危険ですので、無理に強く力を入れすぎないようにご注意ください。)
固くて六角レンチが回せない	六角レンチの短い辺を取り付けて長い辺を持って回すと力が入れやすいです。
	力が入れやすい  長い辺を持つ 力が入れにくい 
	また、モニターなどの物に当たって回しにくい場合は、一時的にモニターを外して調節を行ってください。
少しなら動かせるが、大きくモニターを動かそうとすると動かない	可動にともなうケーブルの余裕が少なく、引きつっている可能性があります。 本書おもて面㊟をご参照のうえ、各関節部にケーブルの余裕があるかをご確認ください。

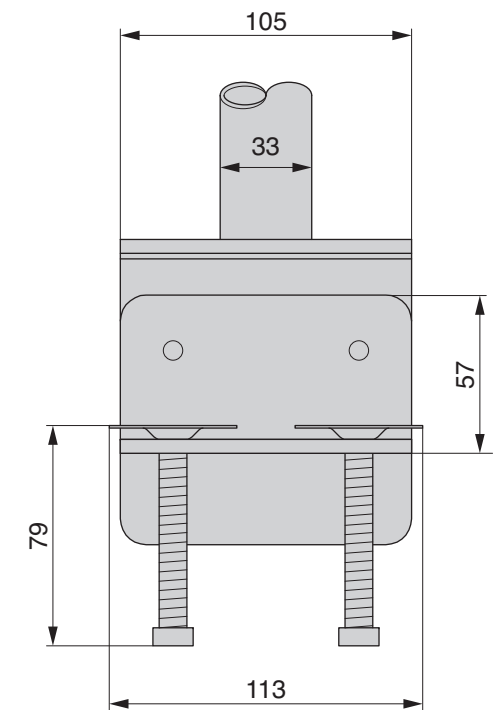
FAQ(よくある質問とその回答)

質 問	回 答
動きがわるい関節部があります。オイルなどを付けてもいいですか？	付属の六角レンチを用いて関節部の調節をお試しください。 変わらない場合は関節部を取り外して、中にゴミなどが付着していないか確認してください。 オイルなどはプラスチックをいためる場合がありますので使用しないでください。

クランプ部寸法

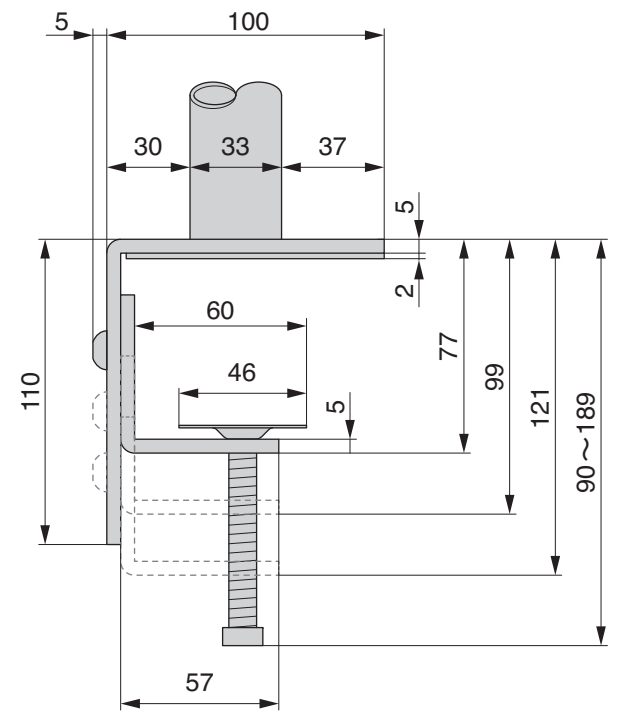
※製品製造工程上、寸法や角度などに多少の誤差が発生する場合があります。ご了承ください。

正 面



(単位：mm)

側 面



(単位：mm)